



←名ふだできたよー



←発見を書きとめる

今年も森の子コレンジャーが始動しました！

1年間共に活動する仲間と森林レンジャーの5月始動式の集合写真（2人お休みでした）。来年3月の終了式での集合写真は、みんなの顔がどう変化するのか楽しみです。

森林レンジャーが「自然と地域と先人」から学んだことを次世代につなぎ、子どもたち自身があきる野の自然を学ぶ1年を目指して・・・

自然を親しむ先にあるコレンジャーそれぞれの想いを育てるため、「自然によりそう＆互いに学ぶ」を目標に共に活動していこうね！

小宮地区の自然

小宮地区には、荒沢川という川があります。そこには、魚も住んでいますが、陸では、虫や植物があり、あきる野市でぜつめつしそうなフマカイ草が見つけました。

小宮の近くに五柱神社があります。そこには約500年もの歴史があるといわれています。かみなりが落ちたのか、と中から二つにみきわがわけていました。周りの長さは、九十九センチありました。

木の子コレンジャー新聞

平成27年5月14日
袋田 和也

天然水

天然水は自然の水です。川の上流から流れてもいいますが、川の始まりでもありません。天然水をそのまま飲むと冷たいです。水をためておくことをダムといいますが、天然水のおかげで魚が住んでいるのを見えました。植物も天然水のおかげで育っていると思いました。

学習感想

ぼくは、天然水は動物も飲んでいいると思ました。なぜなら、動物も飲むかわかります。なので川の水を飲むかわります。なので川は天然水をつくっているということかかくにんできて、うれしかったです。

生物多様性あきる野戦略シンポジウムで活動発表！



↑コレンジャーのかずやが新聞を作りました

6月28日に行われたシンポジウムで、コレンジャーリーダーの4人が活動について発表しました。やりたい！と自分で手を上げて、自分たちで発表内容や役割を決め、準備してきましたね。多くの方に活動の魅力や追究してきたこと、自分の想いや活動について伝える素晴らしい発表でした。コレンジャーよかったよ！という声をたくさんいただきましたね。

みんなにとっていい経験になったことを願います。ありがとう＆お疲れ様でした！

（加瀬澤）

小さな生き物ですが、森の中で大きな危険

全国で起きている大型哺乳類の増加は、あきる野の中でも見られます。増えてしまったイノシシやシカなどは、自然や人に様々な形で影響または被害を与えています。

大型哺乳類の増加の影響もあり、今年は、マダニが特に多くなっています。草原だけでなく、イノシシやシカがよく使う寝床や、森林内の笹藪や林道沿いの雑草まで、幅広い環境で多くのマダニが発生する例があります。マダニは、SFTSウイルス（近年、日本でも報告され始めています。）、日本紅斑熱やライム病などの感染症を媒介することがあるため、まずは咬まれないよう要注意です。しかし、年々増えているこの現状では心配は尽きません。このことから、ハイカーが真夏の茂った森でも安全に楽しめるように、森林レンジャーや各町内会自治会は毎年ハイキングコースの草刈を行っています。さらに、マダニの被害予防のためには、山に入るとき肌を出さない服装がおすすめです。特にスパッツなどを使用することでダニを避けるだけでなく、全国で生息しているヤマビル（あきる野では、あまり見られません。）の被害予防にもなります。

これからお出かけの際は、是非、自分の身を守りながら山と自然を楽しんでください。



フタトゲチマダニの若虫（上写真）やタカサゴキラマダニの成虫（下写真）と見られるマダニ（吸血する前の様子）。マダニの活動時期であるため、注意しましょう。

ハイキングコース上の草刈のビフォー&アフター



今月のスターたち ☆☆☆

梅雨に出会える最も印象に残った動物を紹介します。

- ① 河川敷で見られるオオヨシキリ。色は地味で、ヒヨドリやガビチョウと勘違いされることもありますが、この時期は「チョチョキー、チョチョキー、チョチョケケケケ…」などの様に面白く鳴きます。
- ② ニイジマトラカミキリ。真夏までよく見られるトラカミキリの一種です。蜂と勘違いしないでね！
- ③ ウラナミアカシジミ。6月中に、里山環境で確認できるシジミチョウの一種です。小さいが、細かい模様などは美しい。（パブロ）

